

第40巻 第3号 予告

特集「住まいと健康」

- 〔巻頭言〕 住まいと健康：その新しい視点 吉沢 晋
 〔原著〕 都市化が進む仙台市における住まいと母子の精神保健問題
 島村喜久子, 浅野弘毅, 横山明子
 住居におけるアレルゲンの制御に関する研究 入江建久
 〔総説〕 公衆衛生における住居へのアプローチ 松本恭治
 厚生行政と住宅 上田博三
 〔現場報告〕 マンションの建築確認時の事前指導 五味武人
 母親学級における住居衛生教育の取組み 本間 豊
 西宮市におけるダニ対策の取組み 藤田泰男
 住宅条例づくりに参加して 国弘明子

第40巻 第4号 予告

特集「国際保健協力の充実化に向けて」

編集後記

前号で予告しましたように、廃棄物処理に焦点を当てて見ました。

廃棄物処理は私達の身の回りの環境を快適に維持するばかりでなく、地球の環境を保全し人類の生存を図る上からも重要な課題です。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律が改正され、今日各地であるいは様々な分野で噴出している廃棄物にかかる問題を効率的に取り組む体制の整備が図られようとしております。廃棄物の処理は単に事業活動に伴って排出される産業廃棄物ばかりでなく、日常生活から排出される厨芥やし尿生活排水のような一般廃棄物も等しくそれ等を排出するものが責任を以て処理しなければならないものです。

科学技術の進歩によって日常生活の中でも様々な化学物質を使用しており、それ等が廃棄物として排出されたときの影響は非常に大きく、有害物質を含んでいない廃棄物でも処理の過程で有害物質を生成することもあります。さらには、廃棄物は日常生活や地域の産業活動と深く係わっているため地域に根ざした廃棄物処理行政の展開が強く望まれております。このような観点から本号は構成されておりますので、読者各位の日頃の御活動に役立つことがあれば幸です。

(真柄 泰基)